

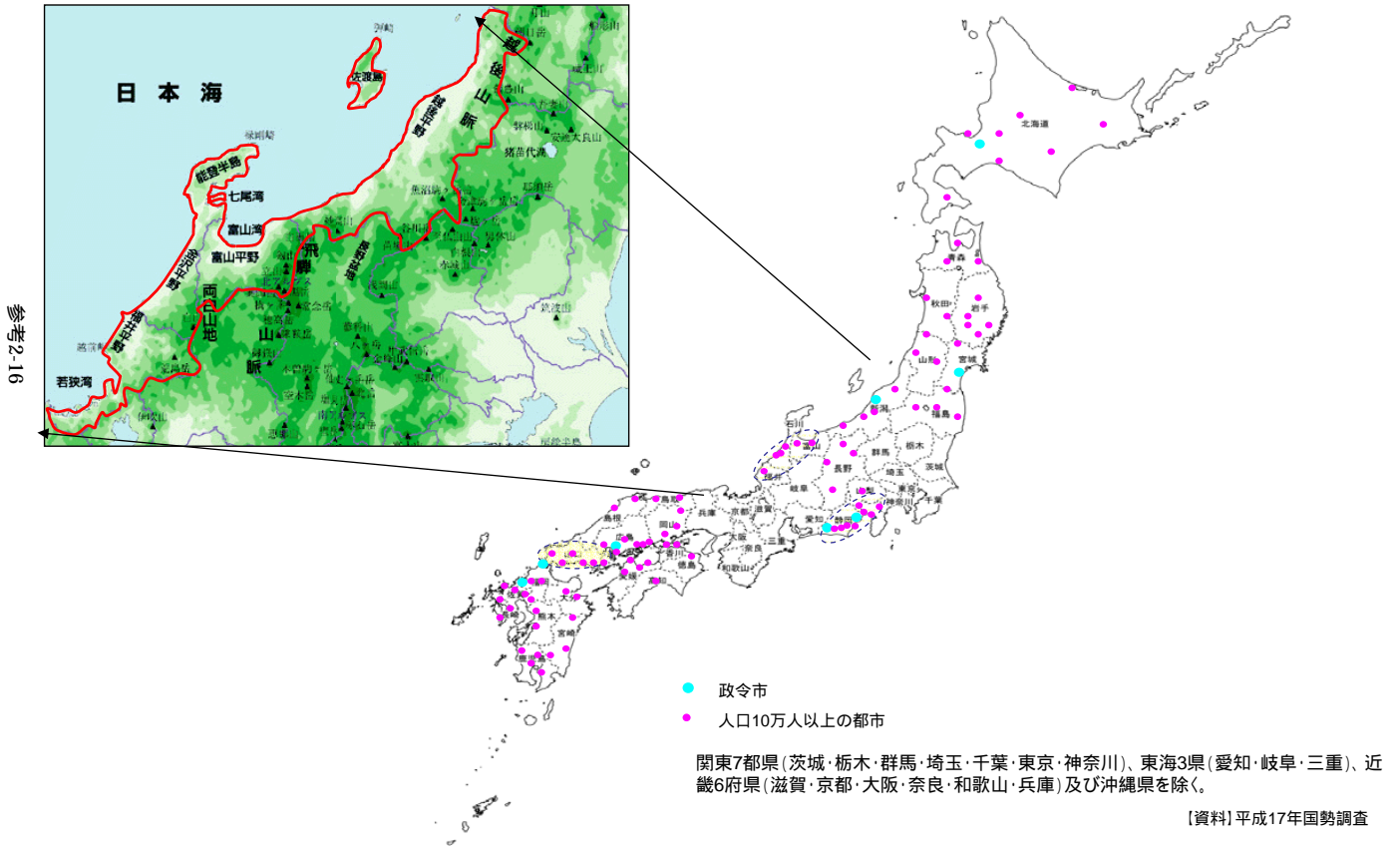
北陸圏における真に暮らしやすい接続型都市圏の形成推進調査
第1回調査検討委員会

特徴及び検討の方向について

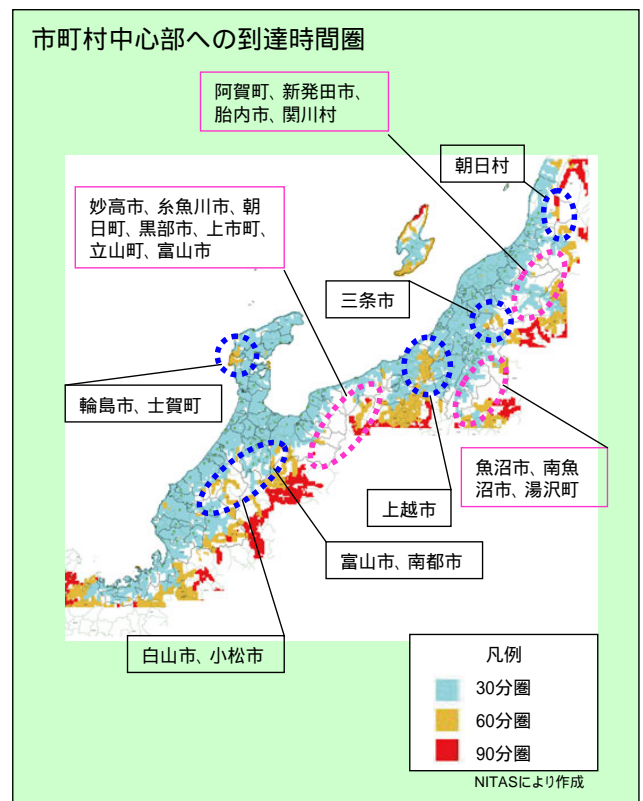
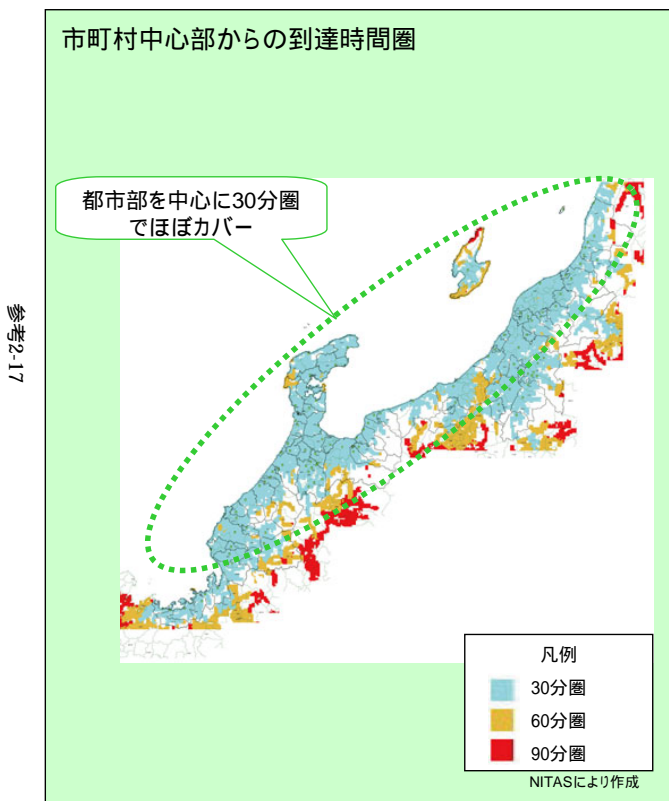
1. 北陸圏の特徴
2. 検討の方向

1. 北陸圏の特徴

人口10万人以上の都市の接続状況は全国でも有数



都市が接続する中で、中心的な都市を中心に30分圏が基本的な生活圏で、都市部と農山漁村部が近接条件不利地域でも都市部からの時間距離が異なる地域が存在



北陸の農山漁村は、美しい個性有る景観や歴史・文化、豊かな農林水産物など資源の方向

個性豊かな美しい風景や文化

富山県

扇状地の美しい景観
砺波平野の散居村



【出典】全国市長会発行「市政」(平成18年9月号)

五箇山の合掌造り集落
(世界文化遺産)



【出典】富山県HP

おわら風の盆の八尾地区
(富山市)



【出典】平成17年度都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区概要

石川県

加賀平野



【出典】手取川七ヶ用水土地改良区

白米の千枚田(石川県輪島市)



【出典】石川県HP

石川県・能登キリコ祭り



【出典】石川県HP

福井県

福井平野



【出典】福井県HP

福井県越前町



福井県・三国祭



【提供】福井県

新潟県

新潟平野



【出典】新潟県HP

花坂の棚田



【出典】新潟県公式観光情報サイトHP

村上大祭



【出典】新潟県公式観光情報サイトHP

豊かな農林水産物

富山県

ますの寿司



【出典】富山県HP

呉羽なし



【出典】富山県HP

ホタルイカ



【出典】富山県HP

石川県

いしる



※1 【出典】のとねっとHP

甘エビ



【出典】石川県HP

加賀たまきゅうり



【出典】石川県HP

福井県

鯖の糠づけ



【写真提供】福井県農林水産部販売開拓課

越前おろしそば



【出典】福井県HP

焼き鯖寿司



【出典】福井県HP

新潟県

アスパラガス



【出典】北陸農政局HP

茶豆



【出典】北陸農政局HP

チューリップ

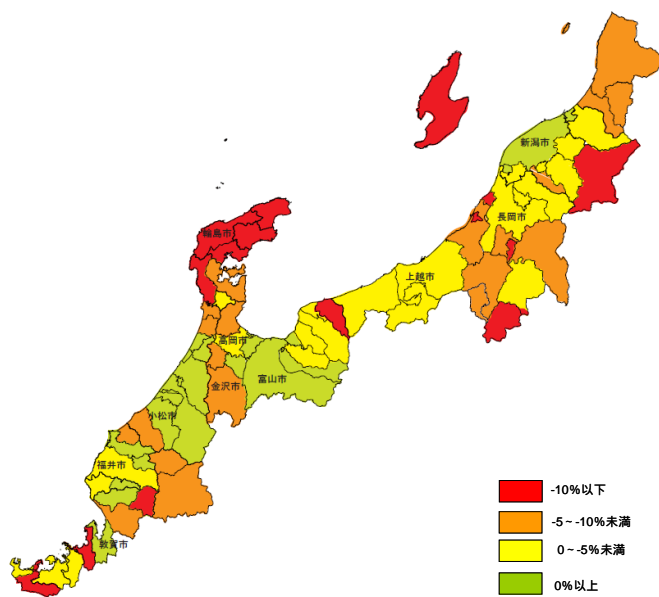


【出典】北陸農政局HP

参考2-18

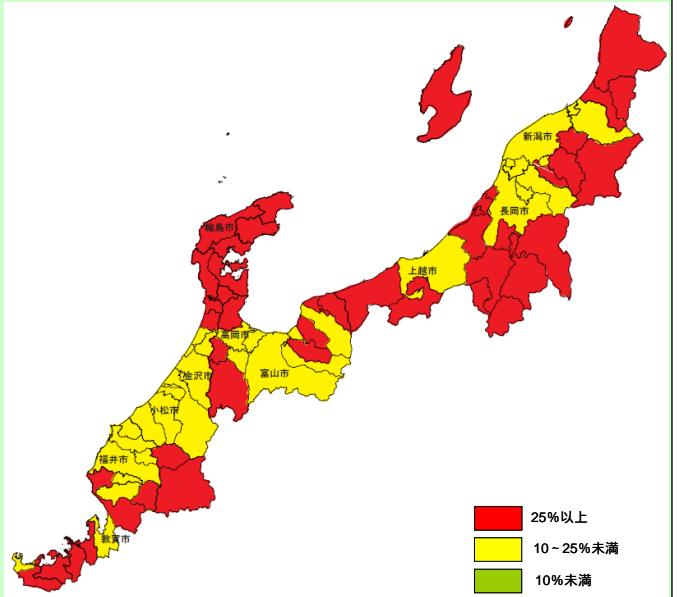
半島地域や中山間地域では、人口減少、高齢化の進行が顕著

人口増減率の分布(平成7年 平成17年)



【資料】平成17年国勢調査

高齢化率の分布(平成17年)

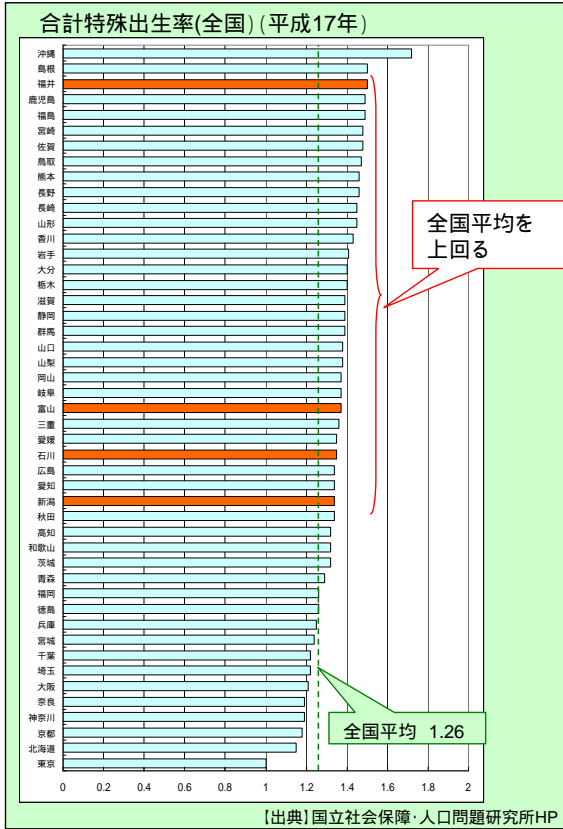


【資料】平成17年国勢調査

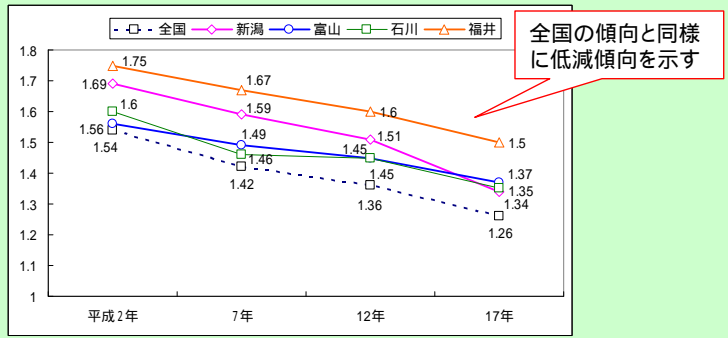
参考2-19

合計特殊出生率は、全国的には高いものの、近年低減傾向
同居や近居が多いと言われているものの、核家族化が進展

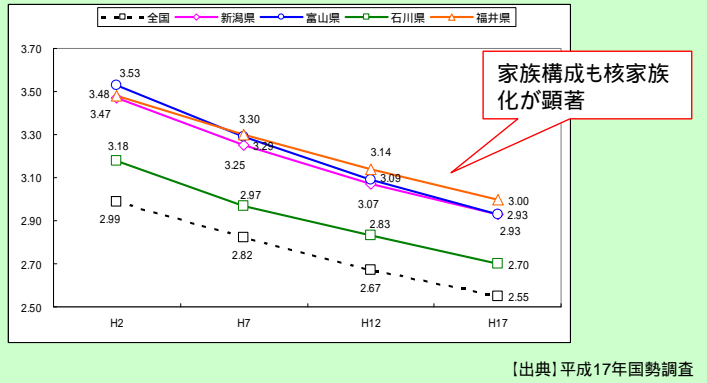
参考2-20



合計特殊出生率の推移



平均世帯人員(一般世帯)の推移



共働き世帯、女性の就業率とも、全国に比べ高い
人口流出は進むが、出身者のUIターン希望者は大

参考2-21

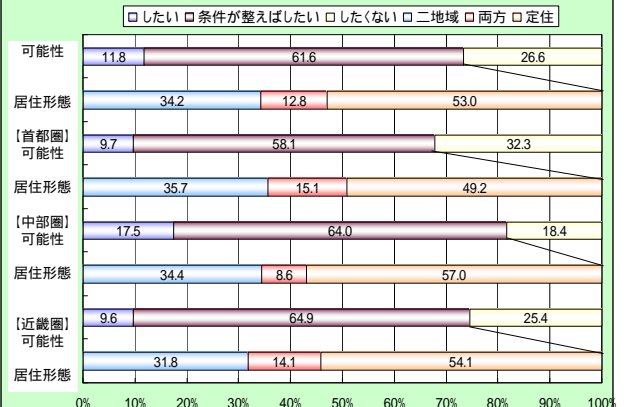
共働きの実態・女性の就業比率

共働き、女性の就業率ともに、福井県が全国一位、4県の中では、新潟県がやや低いものの、全国比較ではいずれも上位に位置する。



居住圏域別に見た北陸出身者のUIターン意向
(平成19年度調査)

北陸圏の出身者では、将来「北陸圏に居住」意向を持つ人が7割近くおり、中京圏居住者の要望が若干高い。

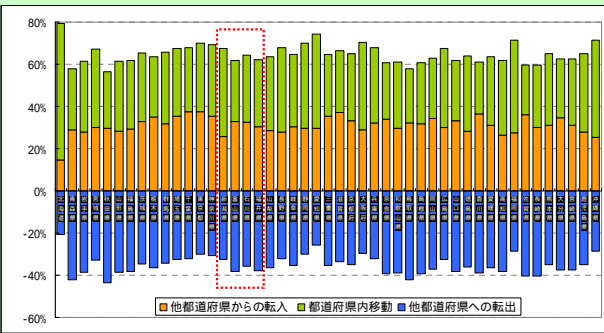


【出典】国土交通省 北陸地方整備局
「平成19年度 北陸圏における地域特性を活用した自立的、持続的な地域づくりに関する調査業務 報告書」

<参考> 就学・就業に伴う人口動態

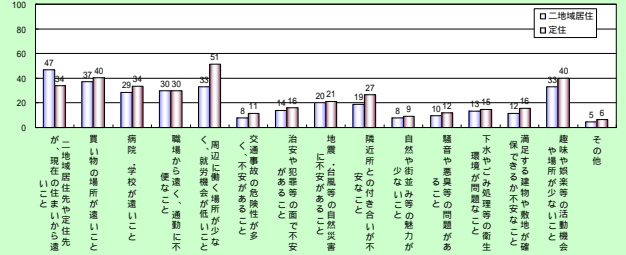
大学進学を機会に、若年層が三大都市圏に流出
地元就業希望は強いが、若年層に魅力的な職場が少ないとの指摘もある

都道府県別の人口流動：北陸地域は流出超過



出身者アンケートによるUターンへの課題

UJターンの課題としては、職の確保、病院などの近接性、買物の場所、現在の住まいからの距離といった点が課題として指摘されている

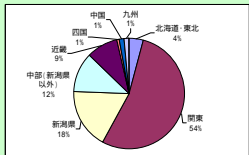


若者の地元定着状況
高等学校卒業後の進学先地域

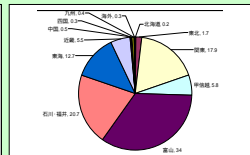
【出典】学校基本調査H18

出身高校所在地	進学先(大学所在地)										
	富山県	石川県	福井県	新潟県	長野県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	東京都	その他
富山県	18.4	13.0	1.5	4.1	0.9	20.2	12.0	13.8	16.1		
石川県	7.7	34.4	2.5	1.5	0.9	13.8	9.1	18.4	11.7		
福井県	3.0	9.6	25.4	0.9	0.9	11.3	13.0	22.7	13.2		
新潟県	1.0	3.2	0.3	31.6	0.9	30.3	3.0	3.4	26.3		

大学卒業生の就職先地域
<長岡技術科学大学>



<富山大学(H19)>



・大学進学は地元大学への進学が富山県で30%程度で、多くが他県(都市圏)の大学へ進学するなど、流出傾向

・地元大学では、地元就職が卒業生の半分を占めるが、新潟では2割弱程度が地元で就職するのみ

北陸圏の就業に関する課題認識

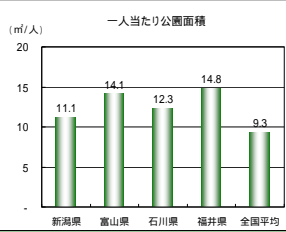
(平成19年度国土創発調査「二地域居住・定住促進分科会」委員意見より)

- ・有効求人倍率は高いとされているが、その内容は工場の生産ラインがほとんど。選択肢が少ない。
- ・若者に魅力のある職種は少なく、進学や都市圏での就職による転出する。
- ・働き方改革としてICTを活用したテレワークの導入に期待できる。
- ・定住サポートセンターへの申込者は、行政が就職を斡旋することに期待している。
- ・生産工場へ優秀な人材を投入し生産構造の改革を行うようなアイデアも必要

3) 生活等 ~ 生活環境の充実 ~

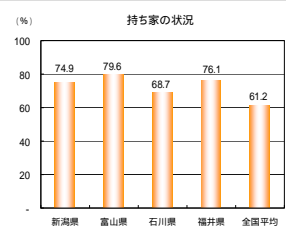
生活環境は充実し、教育レベルも高く、子育て支援施策も先駆的に取組

充実した生活環境



一人当たりの公園面積は福井県では全国の例えば福井県では1.5となるなど、ゆとりある暮らしの環境を有している。

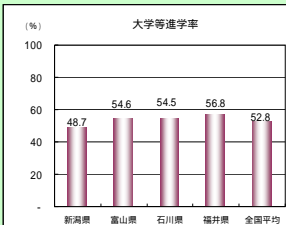
【出典】国土交通省 都市・地域整備局 都市公園データベース (平成19年3月31日現在)



富山県では約80%の世帯が持ち家を有しており、全国に比べても、富山県で約20ポイント近くも高い。

【出典】総務省 住宅・土地統計調査報告全国編 (平成15年)

高い教育



高校卒業後の進学は、富山、石川、福井で全国よりも高く、新潟も全国平均に迫る進学率となっている。

【出典】文部科学省 学校教育基本調査 (平成20年)

学力テストの正答率の比較

全国学力・学習状況調査結果では、小学校、中学校共に北陸圏の高い正解率が示されている。

【小学校】

順位	都道府県	国語A 正答率 (%)
1	秋田	74.4
2	青森	70.8
3	福井	70.5
4	富山	68.8
5	東京	68.5
11	石川	67.6
13	新潟	67
全国(国公立)		65.6
全国(公立)		65.4

順位	都道府県	算数A 正答率 (%)
1	秋田	80.7
2	福井	78.3
3	青森	77.2
4	富山	76
5	京都	75.3
6	石川	74.7
10	熊本	74
29	新潟	71.9
全国(国公立)		72.3
全国(公立)		72.2

【中学校】

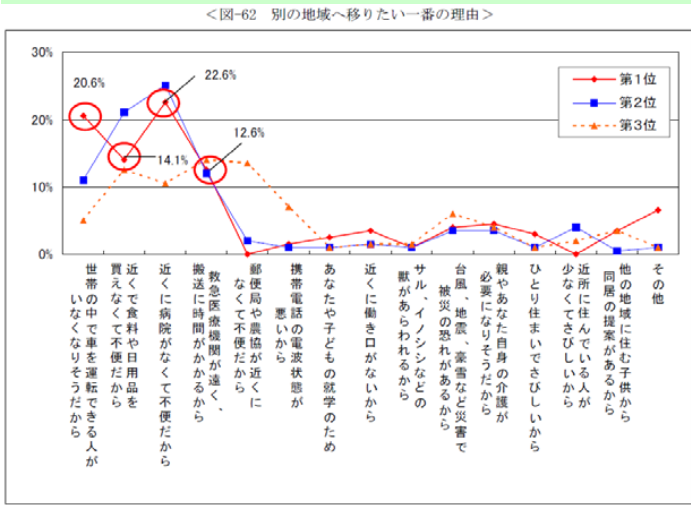
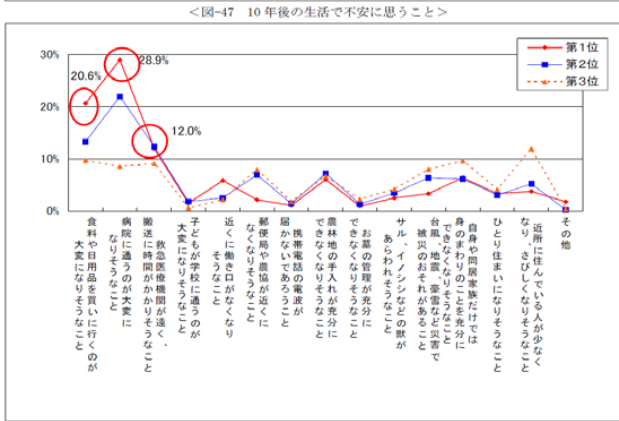
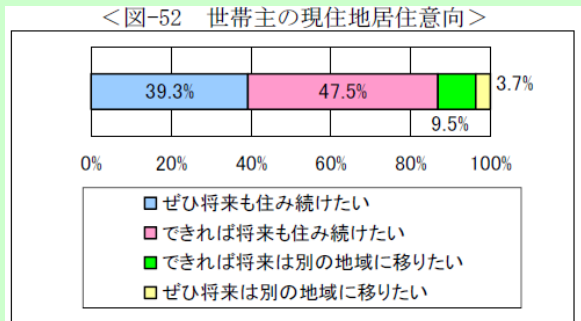
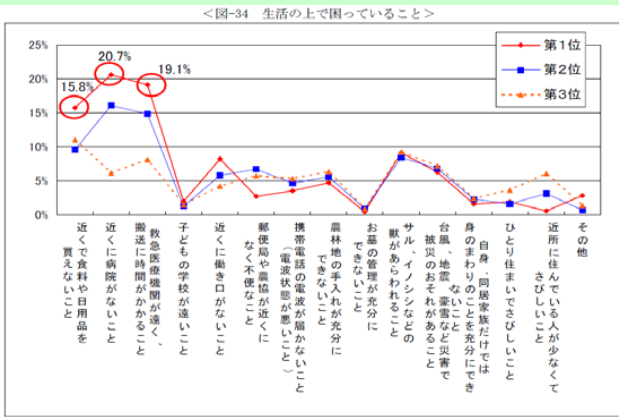
順位	都道府県	国語A 正答率 (%)
1	秋田	78.6
2	福井	78.4
3	富山	78
4	山形	76.7
5	石川	76
10	静岡	75.4
27	新潟	73.6
全国(国公立)		74.1
全国(公立)		73.6

順位	都道府県	数学A 正答率 (%)
1	福井	72.1
2	秋田	70.2
3	富山	69.9
4	香川	68
5	岐阜	67
9	石川	66.4
10	奈良	66.3
27	新潟	62.8
全国(国公立)		63.9
全国(公立)		63.1

【出典】国立教育政策研究所HP

半島地域や中山間地域では、暮らしの不安が大きい

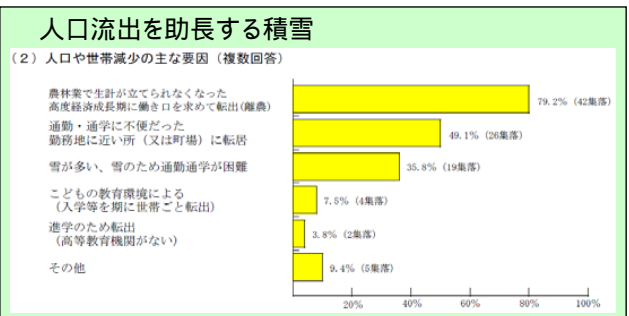
参考2-24



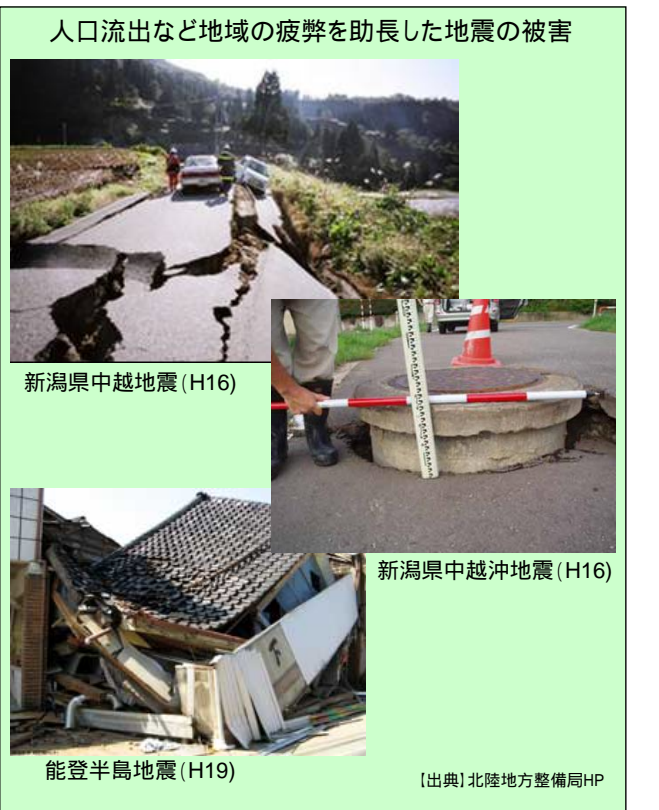
【出典】人口減少・高齢化が進んだ集落等を対象とした「日常生活に関するアンケート調査」の集計結果(中間報告)、平成20年12月、国土交通省国土計画局総合計画課

生活疲弊を助長する降雪(困難な除雪)
地震もまた人口流出を助長

参考2-25



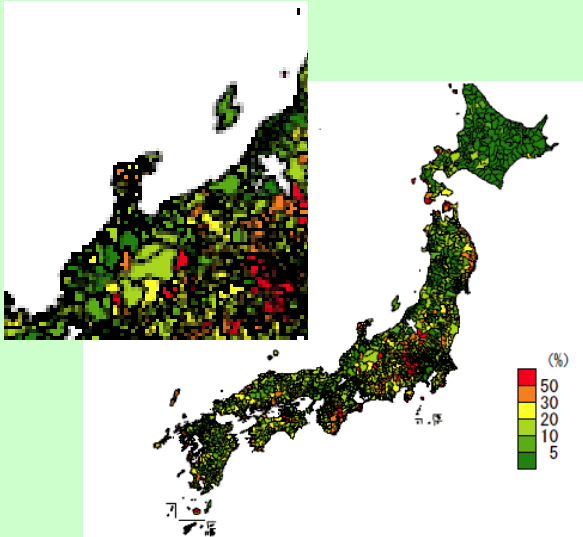
【出典】高齢化が進んでいる集落における集落機能の実態等に関する現地調査結果報告書、平成19年5月、上越市



耕作放棄地、担い手の減少、鳥獣被害の拡大

耕作放棄の状況

北陸圏では、耕作放棄が30%を超える市町村は比較的小さいが、奥能登地方や上越地方では耕作放棄地の割合が高くなっている。



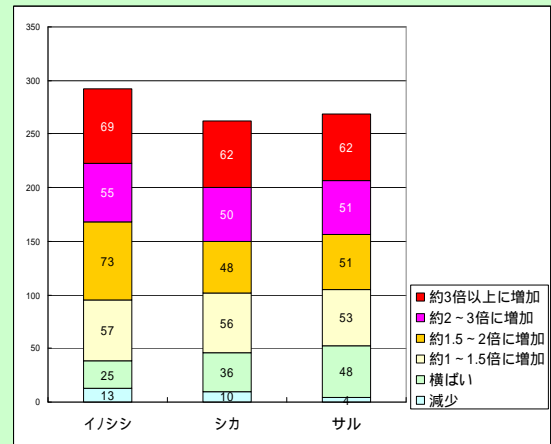
(旧)市町村別耕作放棄割合 (2005農林センサス)

注:新潟県中越地震の影響で、中越地方は欠測値

参考2-26

鳥獣被害の状況

全国的に、中山間地等の鳥獣被害が増加しており、振興山村市町村へのアンケート調査では、回答市町村の8割以上が10年前に比べて鳥獣被害が増加していると答えており、さらに2倍以上の増加と回答した市町村も4割以上になる。



10年前と比較した鳥獣被害の状況

【出典】全国山村振興連盟「鳥獣被害に関する振興山村市町村へのアンケート調査」(2007年10月公表)

圏域内一極集中となるような特定の大都市はなく、県庁所在市等に、ほぼ類似の都市機能が集積

百貨店

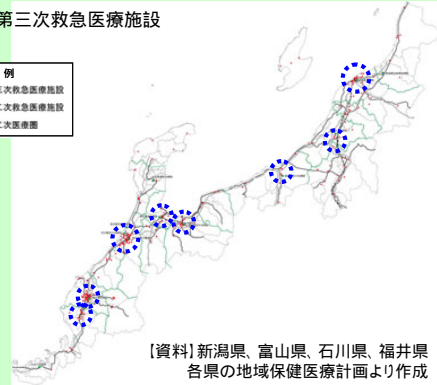


【資料】日本百貨店協会HP「加盟店リスト」

参考2-27

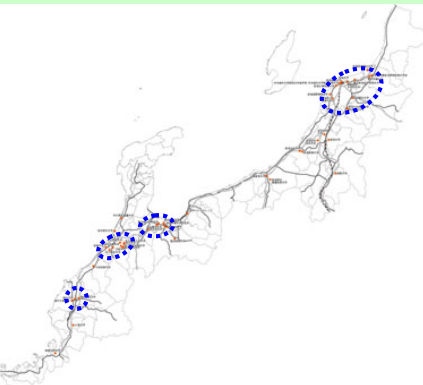
第二次・第三次救急医療施設

凡例
 ● 第三次救急医療施設
 ● 第二次救急医療施設
 ○ 第二次医療圏

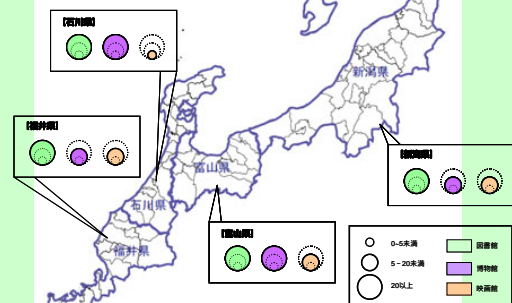


【資料】新潟県、富山県、石川県、福井県各県の地域保健医療計画より作成

大学



美術館・博物館・映画館



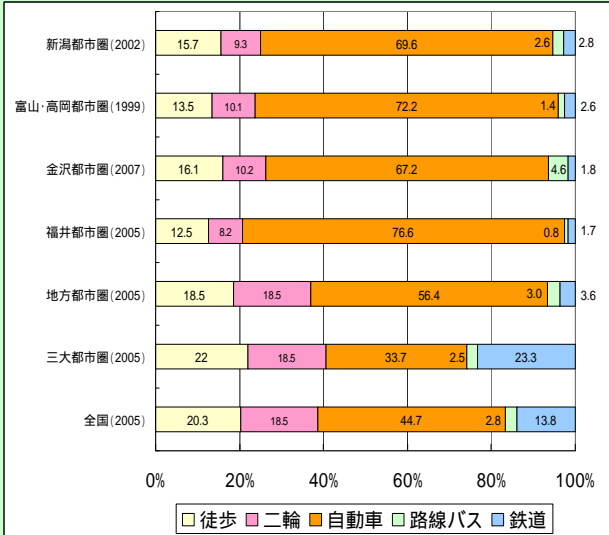
自動車への依存度が高く、今後、生活を支える日常的な足の確保が困難になる可能性が高い(女性や高齢者)

交通手段の状況

北陸圏では、全国平均との比較だけでなく、地方圏との比較においても、自動車の分担率が高くなっている。

全国又は三大都市圏との比較では公共交通機関の分担率が低いことが要因となっている。

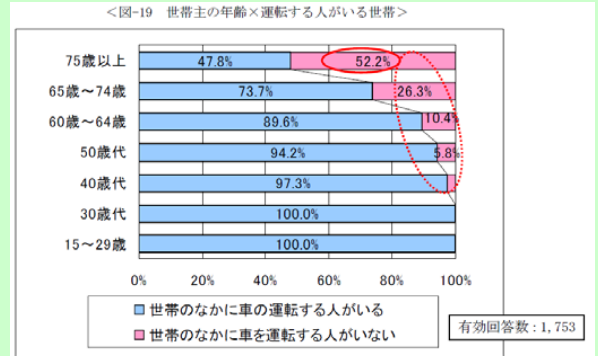
また自動車分担率が高い要因として、徒歩・二輪の分担率が低いことも挙げられ、雪の影響もあるものと考えられる。



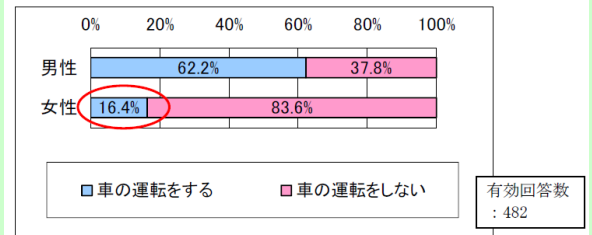
高齢者の運転免許の保有状況

全国調査では、高齢世帯ほど、また、女性ほど運転免許の保有者は少ない。

そのため、近い将来に足の確保が大きな課題となる。



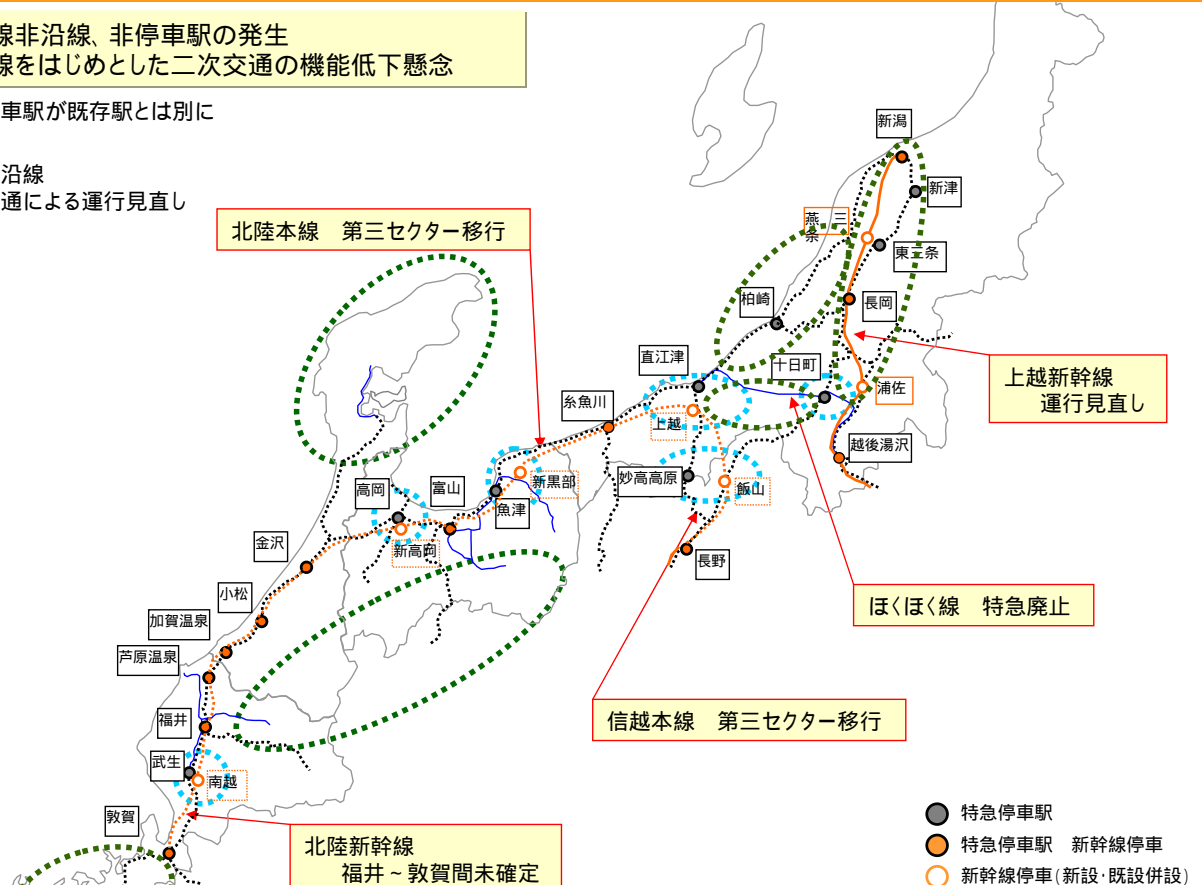
<図-21 一人暮らし世帯の世帯主の性別×運転する人がいる世帯>



[出典] 人口減少・高齢化の進んだ集落等を対象とした「日常生活に関するアンケート調査」の集計結果(中間報告)、平成20年12月、国土交通省国土計画局総合計画課

北陸新幹線非沿線、非停車駅の発生
並行在来線をはじめとした二次交通の機能低下懸念

- 新幹線停車駅が既存駅とは別に整備
- 新幹線非沿線
- 新幹線開通による運行見直し



- 特急停車駅
- 特急停車駅 新幹線停車
- 新幹線停車(新設・既設併設)

参考2-28

参考2-29

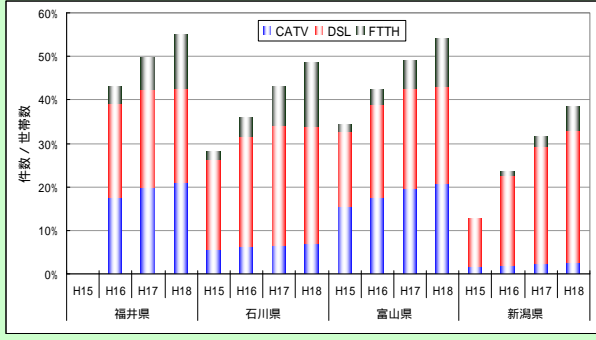
CATVなどICTの普及は進む

ICTの整備状況・活用状況

情報通信の基盤となるCATV,DSL,FTTHの世帯当たりの契約件数は、福井県が最も高く、ついで、富山県、石川県、となっているが、3県とも差異は見れない。一方、新潟県は、他の3県に比べ3割程度低くなっている。

接続件数の変化では、通信速度の速いFTTHの契約が近年主流となっている。

参考2-30



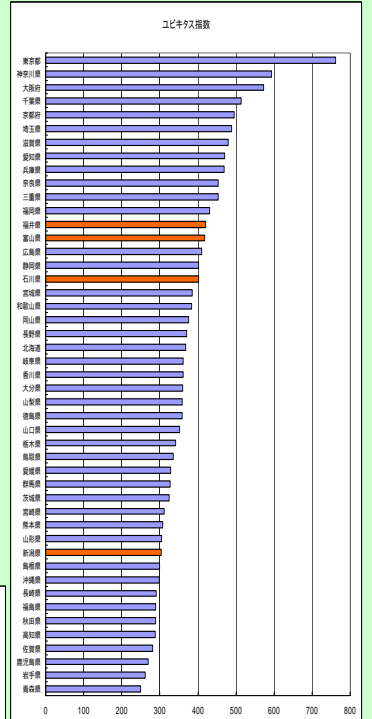
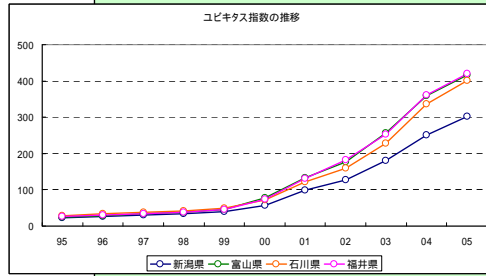
FTTHとは・・・
Fiber To The Homeの略で家庭で使う光ファイバーという意味

情報化の進展状況

情報化の進展状況を示す指標であるコピキタス指数は2000年代に入って、急激な上昇を見せており、情報化が急速に普及しつつある。

コピキタス指数では、富山、石川、福井の各県は三大都市圏と同程度の情報化度を示すが、新潟県は相対的に情報化が他地域より遅れている。

コピキタス指数：総務省が提唱する情報化の程度を表す指数で、固定電話加入契約数、情報流通センサ選択可能情報量、移動体通信加入契約数、パソコン世帯普及率、インターネット人口普及率、ブロードバンド契約数、企業におけるテレワーク実施率及びソフトのマルチユースの割合の8指標を総合したもの。



【出典】北陸総合通信局、信越総合通信局HP

5) 北陸圏の特徴・問題点及び課題と検討テーマの整理

参考2-31

特徴・問題

1) 地 勢

人口10万人以上の都市の接続状況は全国でも有数
都市部と農山漁村部の近接

2) 人口・世帯

条件不利地域でも都市部からの時間距離が異なる地域が存在

3) 生活等

北陸の農山漁村は、美しい個性有る景観や歴史・文化、豊かな農林水産物など資源の方向

4) 交通・情報

半島地域や中山間地域では、人口減少、高齢化の進行が顕著

半島地域や中山間地域では暮らし不安大生活疲弊を助長する降雪(困難な除雪)農林水産業の低迷(耕作放棄地、担い手の減少、鳥獣被害)

自動車依存度は高いものの、今後生活を支える日常的な足の確保が困難
CATVなどICTの普及は進む

都市が接続する中で、中心的な都市を中心に30分圏が基本的な生活圏
都市部と農山漁村部の近接

人口流出は進むが、出身者のUターン希望者は大
合計特殊出生率は全国的には高いものの、近年低減傾向
同居近居が多数だが核家族化が進展
共働き世帯、女性の就業率が高い

生活環境は充実し、教育レベルも高く、子育て支援施策も先駆的に取組

自動車依存度は高いものの、女性にとって日常的な足の確保が不可欠
普及の進むインターネット環境と利用

課題

検討の課題

地域間競争が激化する中で、都市と農山漁村の共生、比較的サービス機能の整った都市の近接する北陸の強みを強化すること
北陸新幹線の開通により、都市間の時間短縮が図られる北陸圏において、この効果をより一層、住民生活の向上に結びつけること

検討の課題

人口減少、高齢化の著しい半島地域や中山間地域で増大する暮らしの不安を解消すること(降雪、鳥獣被害、日常的な足の確保等)
都市と農山漁村の近接する特徴を踏まえた効果的な対策を工夫すること
豊かな資源等を活かした地域の活力を再生すること

検討の課題

都市と農山漁村の共生するコンパクトな都市圏を形成する強みを強化すること
人口流出が進む一方、北陸への20代30代の出身者のUターン希望者が多く、今後、子育てしやすい生活環境の充実が定住促進に不可欠

検討テーマ

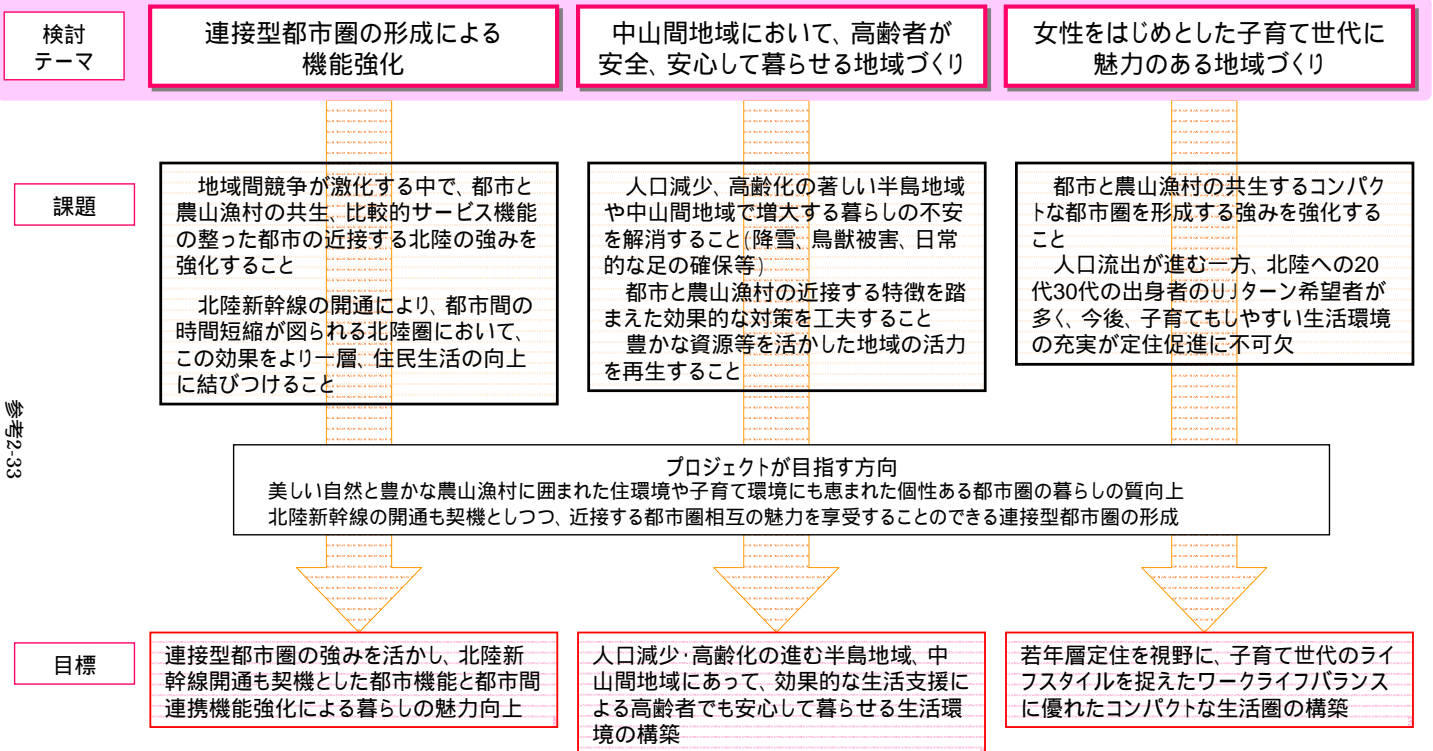
接続型都市圏の形成による機能強化

中山間地域において、高齢者が安全、安心して暮らせる地域づくり

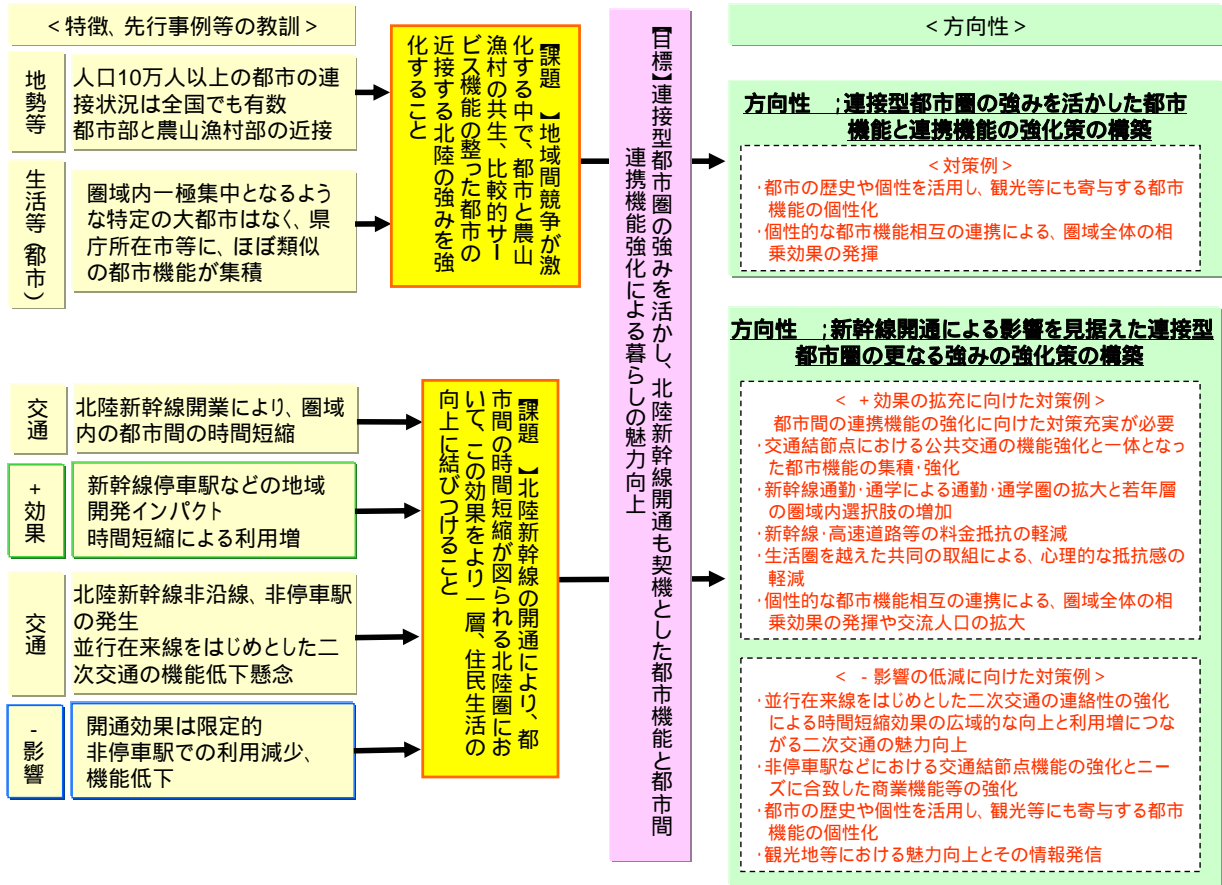
女性をはじめとした子育て世代に魅力のある地域づくり

2. 検討の方向

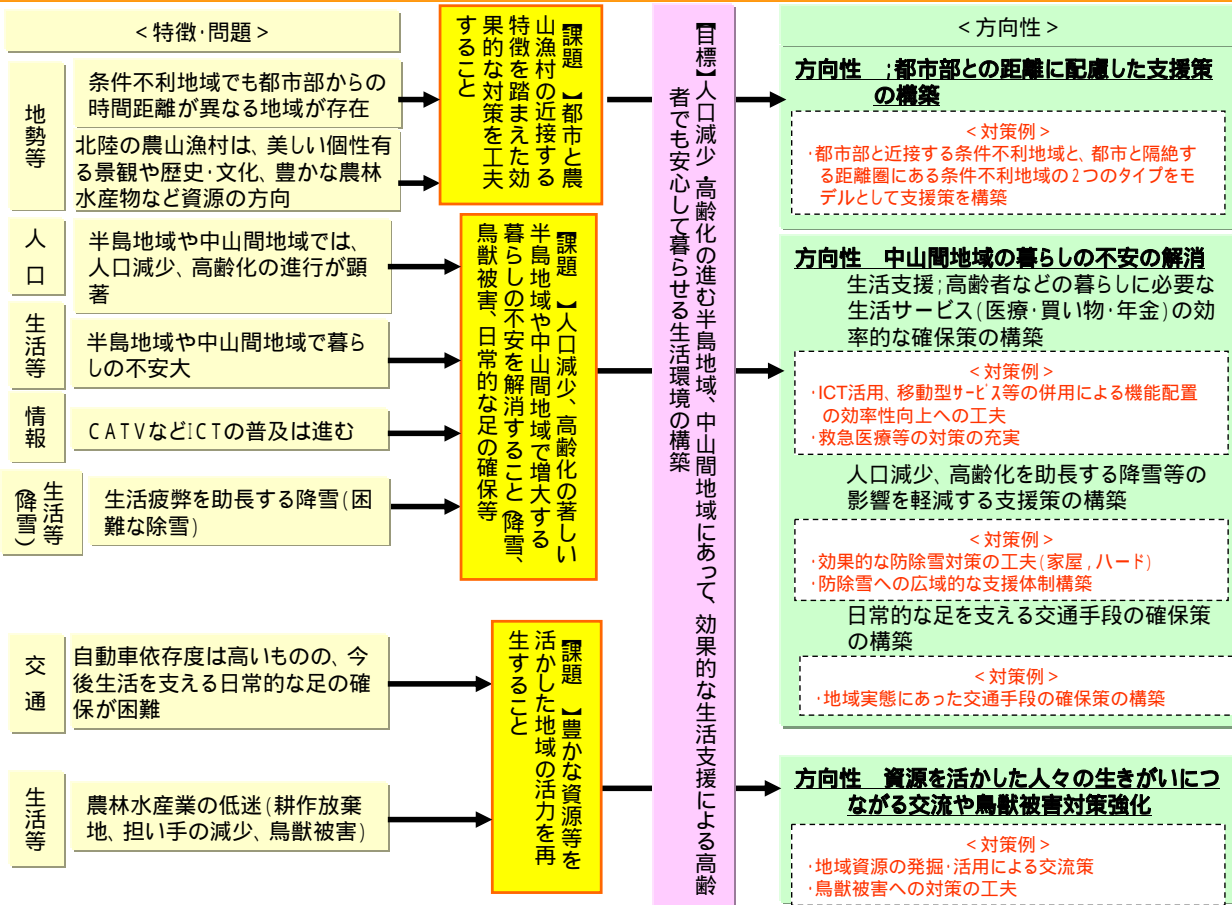
1) テーマ毎の目標の設定

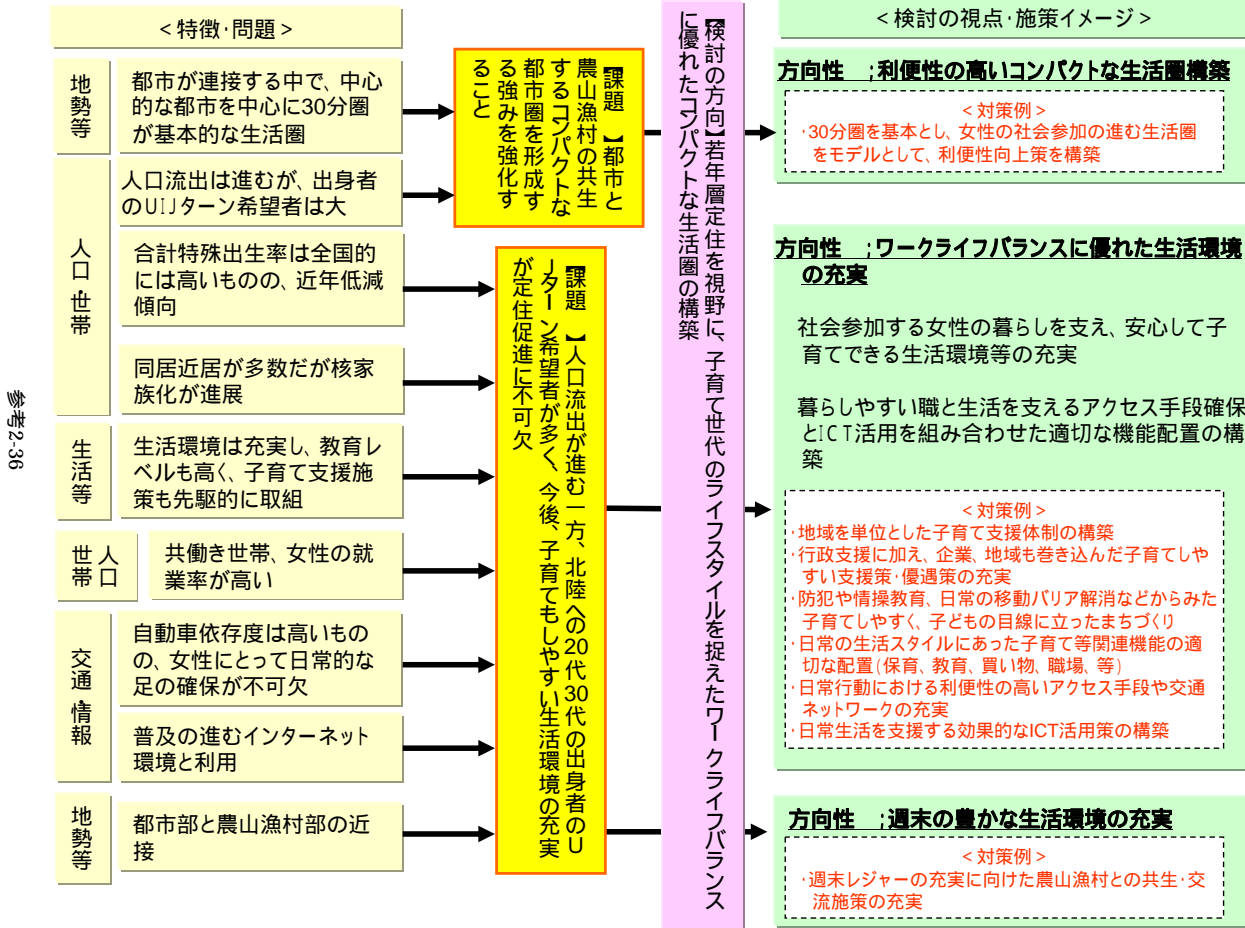


参考2-34



参考2-35





4) 検討の方向(まとめ)

